

多摩市立学校給食センター運営委員会当日資料

平成21年10月28日（水）

資料4-1 「多摩市公式ホームページに寄せられた意見」

多摩市の子供たちの給食の民間委託についての意見をこの様な不特定な対象から聞くところがよく理解出来ない。卑怯なやり方であり、これで一応一般の意見は聞いたと言われても親たちは納得できないと思う。

各学校に民間委託に関するプリントが配布されたり、PTAの集會に突然給食センター長が現れて一方的に民営化の美味しい話ばかりされても、これだけの内容で何億もの血税が動くのは理解出来ない。

自分達に給食の経営能力がないことや、職員の人件費が掛かる事など詳細を明らかにして(実際にAERAやその他の雑誌などでも多摩市の職員の給料体系は問題に挙がっていますが)それを子供達の給食や教育の現場から予算を削減していくのは、かえって逆効果であり世の中にマイナスのイメージを与えたいと思います。

管理者となる栄養士は民間委託せず、といわれていますが現に今の栄養士やセンター長の管理体制は、現場を管理しようという努力が見えません。例えば、管理者による調理師への教育は全く行われていない事や、教育現場に出向いて食事の量や配食の状態を一切見に行かない、衛生面や水道代、人件費のコスト管理等もなされていないなど、調理員の問題ではなく栄養士と管理者の問題であって民間委託後は更に悪化していくものと思われます。この様な市の職員の怠慢が問題でありながら、教育にお金を掛けられないと言っているのは市長なのではないでしょうか？老人ばかりになってどうやってこの多摩市に税金を集めることができるのでしょうか？

子供達を大切にしないのなら未来はないと思われます。この多摩市の市政は新政権を担った民主党の動きとは反する流れであり、時代遅れの市政を行っていると思われます。何億円もの民間委託費が払えるのならば、子供達の食材費に充てる為の努力をするべきではないでしょうか？また給食費は税金で賄えないものでしょうか？何の為の税金？税金を納めている理由が理解出来ません。

(提案)

1.学校給食は小学校までとし無料化、中学校は即刻廃止、その代わりとして多摩市在住の中学生を持つ家庭に対して教育費月額2万円の補助を支給する。そして宅配弁当の委託を一部導入する。

2.給食調理員は管理者数名以外は非常勤とし現在の体制で行い、施設は一か所で行う。また、現場に数名の栄養士を設置し衛生面やコスト管理、配食、調理の指導を一層強化する。

3.栄養士及び管理者、調理員2名は教育現場である学校に月1回は出向き、実際の食事内容を必ず見に行き、量や食事内容が適切であるか評価機関を置く(生徒会、PTA、配膳員等による)。

最後に、、給食の改善に力を入れず(民営化しか方法を考えず)、栄養教諭を置く事で食育を唱える事など、市民にはごまかしにみえる。たっぷりの美味しい食事を提供してこそ教育の一つとなるのでは？

また給食の残菜については、教育現場の声を聞かない栄養士のメニューのマンネリ化、管理者の調理指導の怠慢の現れでしょう。